



日ごろから新田地区社会福祉活動に対し、深いご理解とご協力を賜わり衷心より感謝申しあげます。

昨年は、一月一日に能登半島に大地震が発災し、それに追いつをかけるように九月には大豪雨に見舞われ、私たちも東日本大地震の被害者として心を絞めつけられるような思いをいたしました。

私たちの福祉活動もコロナ禍により様々な活動の休止を余儀なくされましたが、昨年五月より休止していた活動が徐々に再開され、各町内会の諸行事や小地域サロンを実施することができるようになりました。

その間、残念ながら各町内会ごとに存在していた老人クラブが解散し、高齢者の交流の場が少なくなり、また世代間交流も少なくなり、担い手不足が叫ばれるようになつてきました。

但し、SBL（註：仙台防災リーダー）の活動が活発になり、災害避難所運営の要となり新田学区にとりましては災害支援の大きな機動力となっています。昨年は地区社協だよりを発行しかねましたが、一昨年福祉

防災マップを再発行することにより地域貢献に努めることがで

きました。

令和六年度の総会にも取り上げましたが、「子ども食堂」の開設問題ですが、これまで実施できずに入ることには返す返すも残念です。

地域の子供たちが集まり、年齢

の差なく食事会を催すのも良いのではと痛切に感じます。実施するには、人員・食事の中身・開設場所・財政（地区社協負担）・賄い担当者等々の課題があります。

時期的には学校給食のない夏季休暇時期や冬季時期を考慮し、宮城野区社協事務所あるいは新田児童館等の助言を得ながら参加人員構成を考えていきた

いと思います。

今後とも、地域において高齢者、障がい者、子育ての家庭等々の災害時要援護者支援の体制作りの推進活動に町内会・民児協・SBL・福祉委員の皆さんとともに福祉活動を進めて参りたい

と思います。私は「新田の大人は、かつっこいい！」と思います。楽しそうにPTA活動をする姿、子供たちの登下校を見守つてくださる方々の真剣なまなざし、はつらつとした地域の皆さん、おやじの会のさわやかなお父さんたち…。大人が元気でかっこいい

声を掛けていこうではありませんか！今後ともどうぞよろしくお願いします。



## ご挨拶

新田地区社会福祉協議会

会長 橘川光男



## あつたか言葉ときらきら行動

新田小学校

校長 大友重明

人は、子供たちにとって最高のモデルになれるからです。かっこいい大人の背中を見て育った子供たちが、やがて地域で活躍する人材となるよう、チーム新田小の総力を挙げて育ててまいります。

このところ、世間では情報機器の活用が重視されておりますが、今を生きる子供たちには「対話力」だと思います。友達と意見を交わし、自分の考えをまとめて発信する力が最終的に必要になると思うからであります。子供たちが誰とでも挨拶や会話ができ、明るく元気に育つよう、社会全体みんなでたくさん声を掛けていこうではありますか！今後ともどうぞよろしくお願いします。



## 「心の育成」を目指して

東仙台中学校

校長 片桐知彦

令和七年という年を新たに迎え、新しい出逢いと新しい春を迎える準備にさしかかろうとしている東仙台中学校です。私は、皆様のお陰様を持ちまして、今年度より校長を務めさせていただいています片桐と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度より校長を務めさせていただいています片桐と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

東仙祭（文化祭）「継走祭（運動会）」を全て本来行う場所で行うことができました。コロナ禍が本当の意味で終わったと実感できる年となりました。また、現在生徒数は約六百六十名で転出入はあるものの、今後は少しずつ減少傾向にありますが、ほぼ横ばいの学級数で、推移していく予定です。

さて、そんな本校ですが、橋川会長から、昔の東仙台中の話をいたしました。その中で、当時、東仙台中の生徒が落ち着かない時代があつた時に、橋川会長ご自身が、学校に足をお運びいただき、授業には入れない生徒たちのお相手をしていました。いわ當時の様子を伺いました。いわ

ば、時代の流れを刻々と肌で感じながら見守っていただき、今この東仙台中学校があることに深く感謝したしだいあります。今後も新田地区社会福祉協議会の皆様には、変わらぬお気持ちで学校を見守っていただき本校生徒の輝く未来を今後も応援していただきたいと考えております。そして、中学校の生徒が地域で活躍できる場、認めてもらえる場、褒めてもらえる場を共有できるよう積極的にボランティア等において関わりが深められるようお願いいたします。

本校の今年度の協働型学校評価の重点目標は「思いやる心・命を大切にする心の育成」。日頃の挨拶・ボランティア活動を通して」です。何かで接する機会があれば、これまでござり、気軽に挨拶を交わしながら見守っていたり、安心感を子供たちに与えていただければと思います。そして、いつまでも温かい心の交流が途絶えること無く続していくことを願っているところです。

これからも、東仙台中学校の子供たちを、どうぞよろしくお願いいたします。

## 活動報告

新田赤十字奉仕団  
団長 郷家仁志

皆様いかがお過ごでしょうか、ここ数年コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症が蔓延して赤十字奉仕団の活動が何もできない状態でした。一時は収束したかと思いましたが、まだウィルスの感染症が衰えません。

今回、赤十字奉仕団の活動で新田コミュニティセンターで日赤宮城県支部の講師をお呼びして『AED』自動体外式除細動器の取り扱いの説明および実施を各町内から33名の方たちが参加してくれました。これからも研修会や講習会をやっていきたいと思いますので皆様の参加をお願いします。

又、年2回の夏と秋に民生委員・児童委員の皆様方の協力を得まして保育所新田こばと園の園児たちとの植栽が出来るようになり、園児達と楽しい時間を過ごすことが出来るようになりました。

新田赤十字奉仕団は、団員、新田よろこびの会や民生委員・児童委員・社会福祉協議会の方たちの協力を得まして、地域の子供たちや高齢者の方々との交流を深めていきたいと思います。又、地域の皆様が安心して生活できるように活動していきたいと思います。



日頃より、民生委員活動に御協力をいただいている皆様方に深く感謝申し上げます。

早いもので、今年は二年任期の最終年となりました。

それに伴い、民生委員・児童委員の全国一斉改選の年となります。

現在、新田民児協は、二十一名の民生委員児童委員と一名

の主任児童委員（一名の欠員有）の二十二名で活動しております。全員が再任していただきたいところではありますが、定年による退任、個々の諸事情による退任があると思われます。

後任の選任については、各町内会長並びに町内会の皆さま・新田学区の関係団体の皆様の協力をお願いしたいと思います。



## 「一斉改選」に寄せて

民生委員児童委員協議会

会長 加藤博之

ます。

これからも、地域住民が充実して暮らせるように、また、行政機関及び関係団体との架け橋となれるよう活動して参ります。



介護予防を目的に元気いきいき教室の開催などを行わせていただいております。

これもひとえに橋川会長はじめ地域の関係団体の皆様のお力添えのおかげと感じております。

さて、地域共生社会が謳われている中、地域包括支援センターの役割も高齢者にとどまらず多世代、他職種との連携による地域づくりが求められています。

令和六年九月には、各町内会長、町内会役員、地区社協、民生委員児童委員、児童館、障害サービス事業所などの皆様と『ごちやまぜ新田』をテーマに



## 地域との連携強化を

東仙台地域包括支援センター

所長  
高野  
亮



# 社明運動に携わつて

## 東仙台地区運動明社

總務  
米山裕美



田頃より当センターの運営に  
対しご支援いただき厚く御礼申  
し上げます。

地域ケア会議を開催しました。活発な意見が挙がり、改めて様々な機関との繋がりが地域の活性化に必要だと感じたところです。今後も継続的に地域づくりをテーマとした地域ケア会議の開催を検討しているところです。

橋川会長のお声掛けを受け、  
社明運動の活動に携わり十年以上  
が経ちました。

講師の方による講演を組み合わせるなど、年々で内容は少し変わりますが、会場の皆さんと堂に「音」を共有してきたように思います。

今後もより多世代、他職種の皆様と連携を図り、新田地区が皆様にとって住みやすい地域になる様、お力添えをいただきながら、職員一同さらに尽力して参ります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。

演奏の音 合唱の声 その響き渡る音色に包まれる体験と感動を共有してきました。それは、演奏している側の団童生徒さんたちも同じ体験だったと思います。

An illustration of a man with short brown hair and glasses, wearing a white shirt. He is standing next to a green potted plant with large leaves. The background is light blue with a few pink flowers.

どれだけ練習を頑張ってきた

さて、地域共生社会が謳われて  
いる中、地域包括支援センタ－の役割も高齢者にとどまらず多世代、他職種との連携によ

令和六年九月には、各町内会長、町内会役員、地区社協、民生委員児童委員、児童館、障害サービス事業所などの皆様と『ごちやまぜ新田』をテーマに



ご指導されている先生方の熱音  
にも気づかされます。

会場で聞いている「音」のバツ  
クグラウンドに子供たちを支え  
る大人がいるからこそ、安心し  
て音を奏でているのです。

さて、社明運動の活動目的の

一つに「青少年の非行防止と健全育成の推進」がありますが、何をもつて健全育成というのか悩んだことがあります。その時、同じ会場で「音」を共有する体験により、その意義に気が付かされたのです。音によつて気持ちが通じ合える、そして、その音は安心して暮らしている供たちの証（あかし）でもあると。

子供たちを中心にして、地域住民が同じ場所で顔を合わせ、音を共有する集い、今後も東仙台中学校のご協力を頂きながら継続させていきたいと思います。



新田地区小地域ネットワーク  
会議「変化する避難所」と懇  
談会が開催されました

高齢者への配食をしています。お弁当を届けるだけではなく訪問時の挨拶や何気ない世間話も含めて行っている活動です。

人々の価値観は多様化し、地域との関わり方もそれぞれですが、状況に応じて寄り添い、助け合える人間関係は必要です。何かあった時には、話を聞いてくれる人がいるとわかっているだけでも安心できます。同じ地域に住む会員との会話が安心につながるかもしません。

活動は地区社協、日赤はじめ地域の皆さん、団体や学校など多くの皆様に支えられながら、重ねたことによる体調や体力の不安等を感じる会員が退会してきたのですが、近年は年齢を重ねることによる体調や体力の不安等を感じています。それでも不安が生じています。それでもコロナ禍後に再開できたのは、これまで築いてきた多くの方々とのつながりを無くしたくないという会員の思いがあつたからだと思います。

この思いを共有し「つながる活動をしてみませんか?会員募集中です。(年齢性別不問)

よろこびの会は一人暮らしの高齢者への配食をしています。お弁当を届けるだけではなく訪問時の挨拶や何気ない世間話も含めて行っている活動です。

人々の価値観は多様化し、地域との関わり方もそれぞれですが、状況に応じて寄り添い、助け合える人間関係は必要です。何かあった時には、話を聞いてくれる人がいるとわかっているだけでも安心できます。同じ地域に住む会員との会話が安心につながるかもしません。



## 「つながる活動」これからも

新田よろこびの会  
佐々木 祥子

### 活動報告

昨年11月3日「新田コミュニティセンターまつり」が開催され、午前中は駐車場で不用品のバザーや新米と野菜の販売。ポップコーンと玉こんの出店があり、コロナ禍以来久し振りの食品販売で賑わいがとても新鮮でした。

そんな中、今回初めての試みで新田地区社会福祉協議会と共に「縁側サロン」と称し「カフェコーナー」を設けました。老若男女どなたでも無料。コーヒーや和紅茶、カフェオレなどお好みのお茶とお菓子を揃えオープン!

最初のお客様は4歳くらいの女児とお父さん。遠慮がちでしたが民生委員の声がけで、リラックスされ楽しく過ごしていました。地域の方々が談笑していると、通りがかりの方に「あら、変わりながつたすか~お茶ごつつおになつたら~」



と誘ってくれ、狭いコーナーで話しに花が咲き、笑いが渦巻いておりました。

昨今、各町内会では老人クラブの解散が続き、高齢者の方の居場所が減っている現状を見ると、このままでは引きこもりや心体の衰弱、認知症等の加速が懸念されます。福祉委員が中心となり、町内会毎の「サロン」の開催は実施されていますがそれだけに限らず、民生委員主催のお茶のみを年に数回実行したいと模索中です。高齢者の方の拠り所、他愛もないお喋りの場を提供できたらと思います。

「縁側サロン」開催時は皆さまお誘い合わせて、ご参加お待ちしております。

